

丹波篠山市には、きれいなまちなみをはじめ、おいしい物がたくさんある農業の都、文化の薫り、そして安心して住めるふるさとなど、多くの魅力があります。

このまちの魅力が認められ、ここ数年の間に、日本遺産や日本農業遺産に認定、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟も認められるなど、認知度やそのブランド力も一段とアップしています。

しかしながら、喜んでばかりはいられません。市内どこの集落でも少子高齢化が進み、「子どもがいない」「農業や村の担い手が心配だ」「空き家が増えた」などの声が聞こえ、このままではまちの将来が心配されます。

そこで、このような課題を解決し、ワクワクするような丹波篠山市をつくるため、令和2年7月にワクワク農村未来プラン検討委員会を立ち上げました。

委員会では、実態を把握するため、市内全自治会長へのアンケート調査や、地域リーダーへのヒアリングを行いました。さらに、地域で元気に

活躍する方や、ワクワクする活動に取り組んでいる自治会・まちづくり地区などの情報を整理し、分析しました。

9回にわたり検討や協議を重ね、市の支援施策や地域の特色ある取り組み、集落で取り組めるアイデアなどを盛り込んだワクワク農村未来プランを策定しました。

今後は、このプランを地域の中で共有し、地域での実践活動に積極的に生かしていくため、7月から順次開催する定住促進推進員の会議において、説明を行います。

また、モデル地区を定め、市職員や神戸大学を中心とした学識経験者、地域おこし協力隊員などで構成するプロジェクトチームがその地域に入り、支援にあたります。そして、モデル地区での取り組みや情報収集した内容を踏まえ、全市に広げていきます。

なお、このプランは、ホームページで掲載していますので、ご覧ください。

お問い合わせ 創造都市課



0522・5106

集落で取り組む村づくりの手引き

ワクワク農村未来プラン 策定

“モヤモヤ”を“ワクワク”にかえたい方 必見!

一般社団法人AZE代表
吉良佳晃さん
「やっかいな草刈りをワクワクに」
の取り組みで紹介



取り組むにあたって

ワクワクとは

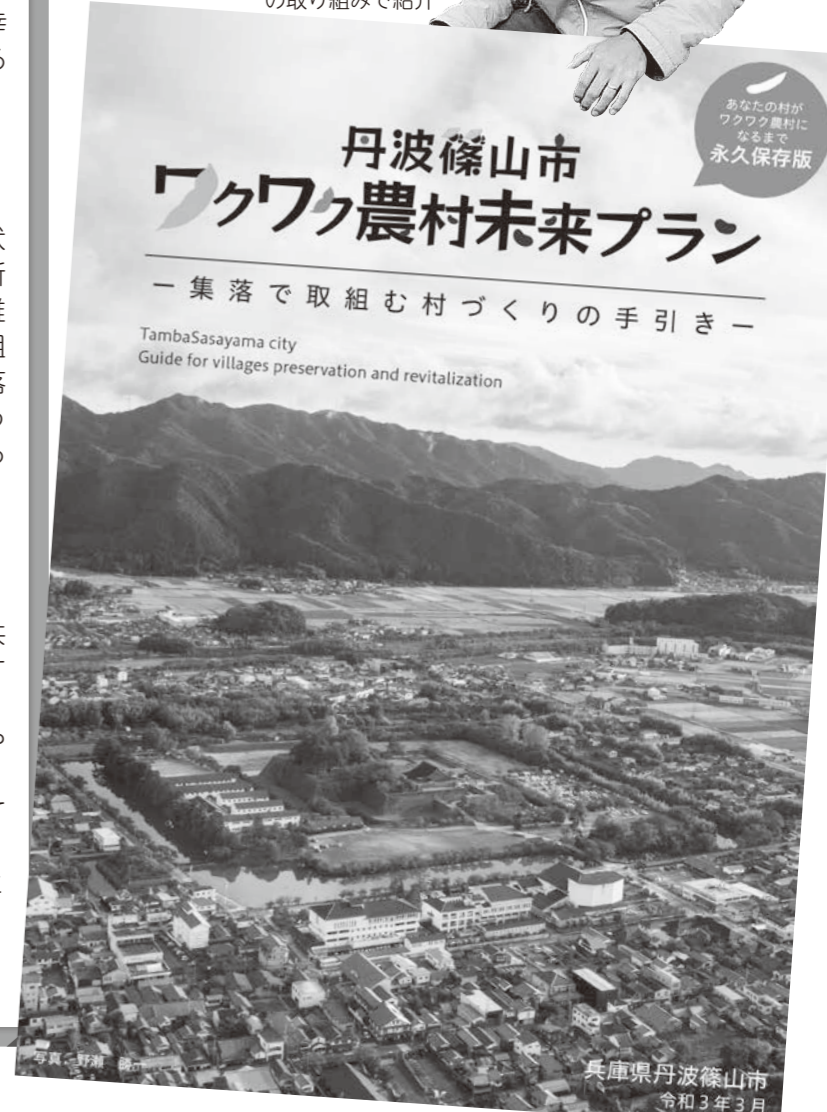
集落を未来につなぐため、丹波篠山で暮らす幸せを見つけて、集落で新たな取り組みをはじめ、このことでは「ワクワク」と表現しています。

ねらい

このワクワク農村未来プランは、集落の現状と課題を把握したうえで、ワクワク感がある新たな取り組みをはじめ、未来に向けた集落の維持と活性化をめざすための手引きです。取り組みにおいては、暮らしの基盤を満足させ、集落の困り事を解決し、こんな地域にしたいという理想を描き、丹波篠山に住む幸せを実感できるようなワクワク農村の実現をめざします。

活用方法

- このワクワク農村未来プランを集落の中で共有していただき、各集落の状況を見つめ直すきっかけにしましょう。
- 集落の中で、課題を把握し、実態を分析し、やりたいことやできることを考えましょう。
- 目標が共有できたら、具体的な計画を考えて実行していきましょう。
- このプランを参考に、集落の「守り」のためにできることを考えながら、「攻め」に一步踏み出して集落がワクワクする取り組みを進めましょう。



ヒントがいっぱい! 集落で取り組める15のワクワクアイデア

関係人口とのつながりでワクワク

- 出身者やその子、孫など、ゆかりのある方との交流・連携を図る
→ 地域出身だが、今は都市部などに住む方、またはその子世代や孫世代に働きかけ、つながりをつくる
- 都市部在住でも、地方と交流したい方や応援したい方を迎える
→ 都市部に住みながら、地方の生活にあこがれをもち、関わりを持ちたいというボランティアなどの方々との交流の場をつくる
- ボランティアにはSNSでの情報の拡散を期待
→ 活動の様子を拡散し、さらに関係の輪を拡大

輝く農業女子でワクワク

- 農業はおしゃれから
→ 地域の公民館やコミセンで、農業女子向けの作業着やグッズ、農機具を紹介する場を設定する
- 好きな作物を楽しく育てる
→ 子どもや家族が安心して食べられるよう有機農業や、丹波篠山の伝統作物を継承するため、黒大豆、山の芋農家にチャレンジ。みんなで料理を食べながら楽しく女子会(おしゃべり)



→ ここで紹介したのはワクワクアイデアの一例です。他にも、次のアイデアがあります。

- みんなで夢を語り、実現させてワクワク
- 四季折々自然とふれあう村づくりでワクワク
- 美しい村づくりでワクワク
- 子や孫と一緒に農作業でワクワク
- 集落の案内所でワクワク
- 田舎インターンの受け入れでワクワク
- 若者目線でワクワク
- 川のプールでワクワク
- 恐竜化石との出会いでワクワク
- 薪ストーブのいやしでワクワク
- 里山探検でワクワク
- 現代アートや工芸でワクワク
- 獣がい対策でワクワク

今回策定したワクワク農村未来プランは、「今、そこにある危機を将来のワクワクにかえる」ための手引きです。アイデアをもとに取り組みを考えてもらいます。そのお手伝いを検討委員を含め、神戸大学や置塩さんが行います。ここからスタートです。集落を未来につないでいくために、共に頑張りましょう。



ワクワク農村未来プラン
検討委員会アドバイザー
神戸大学大学院
農学研究科特命准教授
清水夏樹さん

今の危機を「ワクワク」にかえましょう

ワクワク農村モデル
プロジェクトコーディネーター

地域再生協働員
置塩ひかるさん



集落を何とかしなければという思いをもってはいるけれど、行動していないとか、行動の仕方が分からない方もいらっしゃると思います。そこに、私に関わっていくことで、丹波篠山の未来に一つでも多くのワクワクをぎずけたらいいなと思います。皆さん、一緒にワクワクに取り組みましょう。

日本農業遺産認定記念 丹波篠山市黒豆ナイター 市民応援ツアー参加者募集

とき 7月6日(火) 18時～
ところ ZOZOマリスタジアム(千葉県)
募集人数 30人(先着順)
募集期間 6月1日(火)～11日(金)
参加資格 市内在住・在勤の方
補助金 上限2万円(交通費の上限15,000円または1/2、宿泊費の上限5,000円または1/2)
申し込み方法 観光交流課に電話または直接窓口までお申し込みください
その他 中森俊介選手のサイン入り色紙をプレゼント
問い合わせ 観光交流課 ☎552-6907

始球式の投球者大募集

冠協賛試合では、試合開始前に「始球式セレモニー」が行われます。投球者を市民限定で募集します。

とき 7月6日(火) 14時～
ところ ZOZOマリスタジアム(千葉県)
募集人数 1人 ※交通費や宿泊費は市が全額負担。
募集期間 6月1日(火)～11日(金)
※決定者には6月25日(金)までに通知します。
参加資格 市内在住の方
選考方法 応募動機などを考慮し、「始球式にかける思い」をPRできる方を選考
賞品 始球式の投球権、観戦チケット、直筆サイン入りボール、帽子
申し込み方法 市ホームページからお申し込みください
その他 応募者の中から抽選で10人の方に中森俊介選手直筆サイン入り色紙をプレゼント
問い合わせ 社会教育課 ☎552-5769



中森俊介さんがふるさと大使に就任

マリナーズファンの皆さん、丹波篠山市民の皆さん、いつも熱いご声援をありがとうございます。
正式に丹波篠山市のふるさと大使に任命いただき光栄に思っています。ふるさと大使として、僕の生まれ育った丹波篠山市の豊かな自然や美しい景観を広めていきたいです。皆さんの期待に応えられるように頑張ります。

主な取り組み

冠協賛試合の実施

試合まるごとが「丹波篠山市」一色となり、ブースでの特産品物販のほか、大型ビジョンでPRビデオの放映などを展開し、本市の魅力を発信します。

試合名 日本農業遺産認定記念 丹波篠山市 黒豆ナイター
とき 7月6日(火) 18時～
ところ ZOZOマリスタジアム(千葉県)
対戦相手 福岡ソフトバンクホークス



スポンサーシップ契約で 関東圏に丹波篠山市のPRを展開します

東京オリンピック、また、2025年の関西大阪万博の開催が予定される中、この契約を活用して、関東圏に丹波篠山の魅力をPRしていきます。

まずは、冠協賛試合当日は、PRテーマを日本農業遺産に認定された黒大豆とし、球場内で本市のPR動画の放映およびデカンショ節の披露や特産品の販売など、来場者へ丹波篠山市の魅力をPRします。

その後も、ファンクラブ会員約6万人、ツイッターフォロワー約80万人を抱える、千葉ロッテマリナーズのホームページやSNSなどを活用した情報発信により、市がもつブランドの魅力をPRします。



～千葉ロッテマリナーズとスポンサーシップ契約を締結～

7月6日 日本農業遺産認定記念

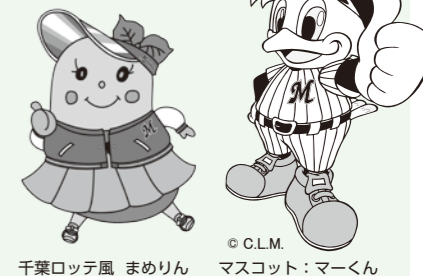
丹波篠山市 黒豆ナイター
開催決定!

ZOZOマリスタジアム / 18時試合開始

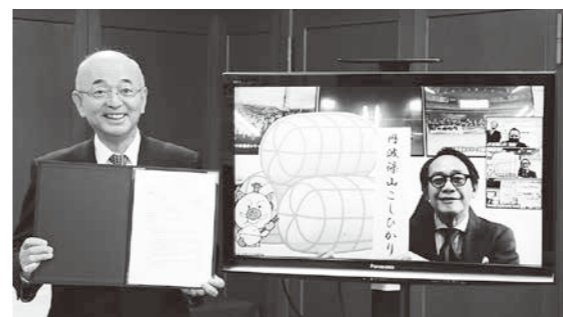


明石商業高等学校の1年生の夏から3季連続で甲子園出場を果たし、ドラフト2位で千葉ロッテマリナーズに入団した中森俊介さん(丹波篠山市出身)。市は、中森選手の入団を機に千葉ロッテマリナーズと、地域連携事業のスポンサーシップ契約を4月22日に締結しました。今後は、千葉ロッテファンや関東圏の皆さんに丹波篠山市の魅力を発信する連携事業に取り組んでいきます。

問い合わせ 社会教育課 ☎552-5769 / 観光交流課 ☎552-6907



千葉ロッテ風 まめりん マスコット：マークン

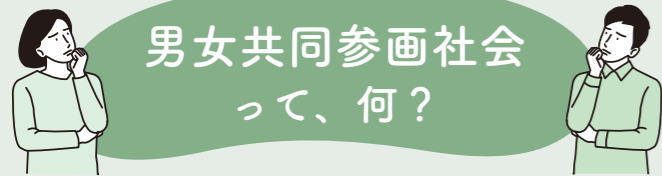


スポンサーシップ協定調印式の様子
(写真右から)株式会社千葉ロッテマリナーズ 河合克夫代表取締役社長、酒井隆明市長

千葉ロッテマリナーズと締結したスポンサーシップ契約。その取り組みのひとつとして、7月6日にZOZOマリナーズスタジアム(千葉県)での福岡ソフトバンクホークス戦を冠協賛試合「日本農業遺産認定記念 丹波篠山市 黒豆ナイター」として開催します。試合当日には来場者に対して球場内のモニターで市のPR映像を流すほか、デカンショ節を披露したり、ブースで黒豆・米などの特産品を販売したりと、丹波篠山市の魅力を大いにPRします。
なお、今回の契約に併せ、市は中森選手に丹波ささやまふるさと大使就任の委嘱状も交付。活躍を願って、丹波篠山こしひかり1年分を贈呈しました。

誰もが個性と能力を發揮できる社会へ

6月23日から29日までの
1週間は「男女共同参画週間」
問い合わせ
人権推進課 ☎552-6926



男女がお互いの人権を尊重し、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に發揮することができる社会のこと。

なんとなく、このように考えていることはありませんか？

家事は女の役割
仕事から早く帰って料理・掃除・洗濯もしなければ！

男は外で働くのが当たり前
父親は一家の大黒柱

育児は母親がすべき
お母さんがずっと一緒にいてあげる方が良い

男なのに家事できるなんて、えらい！
男はできない前提・・・？

女性が起業だなんて、すごい！
家庭との両立大変そう・・・

以上の考え方は、多くの人が悪気なく持っているものかもしれません。しかし、その考え方は、もしかしたら「男女共同参画」「男女平等」に対する「偏見」かも・・・

また、20~59歳を対象にした調査(平成28年)によると、LGBTなどの性的少数者の人は全体の約8%(13人に1人)いるとされています。

左利きやAB型の人の割合とほぼ同じです。左利きやAB型の人は身近にいるのに、LGBTなどの性的少数者の人に会ったことがないと感じるのはなぜでしょう。「いない」のではなく「言えない」「相談できない」のです。私たちが「知らない」だけなのです。

性の多様性を受け入れ、全ての人自分らしく生き生きと暮らせる社会を築きましょう

市内で活躍する女性を紹介



第10期丹波篠山市女性委員会 活動中

委員は6人。月1回程度委員会を開催し、市政や各施策について研修を重ねるとともに、令和4年の市長への活動報告・提言に向け、テーマの検討を行っています。

SLOTH Leather Factory

問い合わせ ☎506-1332 (川北新田52)
OPEN: 木・金・土・日10:00~18:00

杉尾まり子さん



大学時代に出会った革製品に猛烈にほれ込み、卒業後にその会社に就職して9年後に独立した杉尾まり子さん。丹波篠山市にUターンし起業した自社工場で、革製品を製作されています。

「一人でお店するのは大変でしょう」とよく言われますが、自分の大好きなことを仕事にしながら、お客さんの思いを形にできるすてきな環境です。クレームも褒め言葉も全て独り占め！(笑)

インターネットが主流になった今の時代は、やりたいことを仕事にできる方法がたくさんあるので、起業のハードルも低くなっているのではないのでしょうか。みんなが好きなことをして、明るく生きられるといいなと思います。

丹波篠山の革屋さんと言えば「SLOTH」と言ってもらえるようになりたいです。これからも楽しくマイペースに、お仕事も頑張りたいと思います！

どうして、男女共同参画が必要？

これまで、男女共同参画社会の実現に向けて、国を上げていろいろな取り組みがされてきました。

しかし、大事な意思決定の場に女性に加わることができなかったり、家庭や地域・職場などで男女の不平等を感じたりすることも多く、性別役割分担意識も根強く残っています。

現在もなお、家事・育児・介護などに対する女性の負担は大きく、女性の社会参画や経済的自立をはばむ原因となっています。

固定的な性別役割分担意識や、性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込みをなくすことは、自らの意思で生き方を選択できる多様性に富んだ社会の実現につながります。

ますます加速する少子高齢化社会の中で、市民の誰もが、性別にかかわらず、個性と能力を十分に發揮して、自分らしい生き方を楽しむことができる社会が必要です。そのためには、市民の皆さん一人一人の意識改革が、重要な鍵となります。

市は、第3次男女共同参画プランを策定します

第2次男女共同参画プランが、令和3年度で終了するにあたり、新たに策定します。今回のプランは、令和4年から13年までの10年計画とし、下記の内容を含んだ計画とします。

第2次男女共同参画プラン 今年度で終了

- 基本理念**
- ①男女がお互い尊重しあえる社会
 - ②あらゆる分野での男女共同参画
 - ③誰もが住みやすく、暮らしやすい“ささやま”のまち
- 重点目標**
- 男女共同参画を推進する「体制・組織の強化と拡充」
- 基本目標**
- ①「幸せな家庭づくり」
 - ②「幸せな地域づくり・働く場づくり」
 - ③「幸せなまちづくり」

第3次男女共同参画プラン 計画中

- ①男女共同参画社会基本法に基づく市町村基本計画とする
- ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく市町村計画を包括する
- ③「持続可能な開発目標(SDGs)」の「目標5 ジェンダー平等の実現」との関係性を明らかにする
- ④配偶者からの暴力の防止および被害者の保護などに関する法律(DV基本法)に基づく市町村計画を包括する

市内には、自治会長や役員をされている女性が多くおられます。今回は、自治会発足後初の女性役員が誕生した、東岡屋自治会を紹介いたします。

東岡屋自治会

会館担当
玉井安恵さん



4年前に、市外から東岡屋に移住してきました。新参だからこそ見える地域の良さを伝えることや、地域とのつながりを大切にしていきたいです。自治会の役員は「しんどい」イメージがあるかもしれませんが、「楽しそうなことをしてる！」と興味を持ってもらえるような楽しい活動をしていきたいと思っています！

地域活動を大切に考え、自治会活動に取り組む姿をいつも尊敬しています。そんな夫を見習い、「私にできることがあれば」と役員を引き受けました。東岡屋に暮らして20年が経ち、顔見知りの人も増える中、誰もが気軽に相談できるような立ち位置で、地域のために活動できればと思います。

一般会計担当
岡崎久美子さん

